

# 宇和島の漁業の変遷

1年3組 稲住 泰一

1年3組 立花 侑矢

1年3組 立目 雄悟

指導者 教諭 加藤 哲夫

## 1 課題設定の理由

私たちは以前から水産業について興味を持っていた。宇和島は養殖が盛んに行われており、現在ではタイの養殖日本一を誇っている。そこで、宇和島の水産業とその歴史について調査研究しようと考えた。なかでも、宇和島の水産業の優れたところや問題点などを見つけて、改善の方法を考えていきたいと思っている。

## 2 研究の方法

宇和島地方の水産業の特徴について、インターネットで検索したり、図書館で水産関連の文献を利用して、特に宇和島地方の漁業の歴史、漁法、漁種の移り変わりを調べた。その結果をもとに、現在における宇和島の水産業の違いを明確にしたいと考えた。

## 3 結果

### (1) イワシ漁

江戸時代に紀伊の漁夫イワシ網漁が伝えられその後、宇和島の水産業はイワシ漁を中心として栄えた。獲れたイワシは食べるだけでなく、干鰯と呼ばれる肥料として消費していた。古くから発達した背景には漁業に必要な麻の製網技術、造船技術の発達などがある。イワシ網漁の種類として元網、結出網、尻付小網、百姓網に分けられ、それぞれ網の大きさ、漁場の範囲の規定などが定められていた。

#### \*イワシ網漁の種類

元 網・・・藩内で最も古く、新規許可された結出網等より権利厚く、専用漁場を持ち入会漁場では漁場の先取権があった。

結 出 網・・・大結出、小結出、古結出、新結出がある。

尻付小 網・・・イワシ大網に一帖の小網が許可されている。

百 姓 網・・・専用漁場はなく入会漁場でしようされている。

### (2) 真珠養殖業

愛媛の真珠養殖は、明治40年に平城湾で小西左金吾によって興された、アコヤ貝の購入事業に始まり、大正4年には、真円真珠の生産に成功した。昭和10年には、大月菊男によって宇和海の真珠の名声が次第に高まっていった。

その後、真珠生産に従事している漁業者の技術革新と品質向上へのたゆまざる努力によって、宇和海の真珠生産は昭和42年、我が国で3位の実績をあげ、昭和53年には先進地の三重県を上まわる11,000kgの生産高を記録して、日本一の座に輝いた。

その後、大量死などにより真珠貝養殖は衰退し、その後、タイ、ハマチなどの養殖が盛んになった。現在では、日本で有数の養殖場となっており、宇和島市の水産業を支えている。

表1 愛媛県の海面養殖業の生産額の推移 (単位:百万円)

年	総額	ぶり	真鯛	ヒラメ	車海老	のり類	真珠	真珠母貝
S.50	24089	14432	1182	-	106	1432	4142	2721
S.60	74838	33429	6947	-	1418	2069	16673	12424
H.10	68378	23061	21199	3752	391	1927	6486	1534
H.20	65192	22661	27189	1205	127	1066	5714	907

### (3) 赤潮

赤潮が発生する原因としては、生活排水や工場排水などが、海に流れていくことによって、海水の栄養分が多くなることが考えられる。すると、おもに植物性プランクトンがその水域に異常に増えることがあり、海水が赤く染まったりして海の色が変わる。この現象のことを「赤潮」という。

赤潮がおこると、プランクトンが魚のえらに触れ、えらに障害をおこして呼吸できなくなったりプランクトンが大量に酸素を消費するため海水の酸素が欠乏して大量の魚が死んでしまうこともある。

## 4 考察

宇和島市の漁業は時代とともに変化し、現在の養殖業にいたっているということがわかる。宇和島市はみかんで有名であるが、それもまた漁業の移り変わりとともに変化してゆき、みかん農業に行き着いたのだと考えられる。

私たち宇和島市民の現在の暮らしは昔の水産業が深くかかわっているのだと考えられる。また、この研究を通じて、宇和島市は漁業も暮らしも変化し、それと同時に赤潮などの海水の水質汚濁なども問題になっていて、これらは養殖高を左右するなどして、水産業の変遷と関わっているのではないかと考えられる。

## 5 今後の課題

現在の宇和島市の水産業は昔ほどの繁栄は見られず、宇和島市の水産業は、イワシ漁から真珠貝、その後養殖業と変わっていき、私たち宇和島市民の暮らしも変化している。その変化の中で、現在の宇和島市は交通設備などが発達したが、今でも宇和島湾の埋め立ては進行しており、今後、今以上の水質汚濁が起きてしまうと考えられる。そのため数年先には水産業の中心である養殖業まで衰退してしまうと思う。実際、真珠養殖も限度を超えた養殖のせいで自然環境を崩してしまい、結果的に真珠貝の大量死につながってしまった。よって宇和島市全体の課題として、自然環境の保全が大切であると私たちは思う。

## 参考文献

- ・宇和島市編(1974)『宇和島市誌 (上巻)』宇和島市
- ・宇和島市編(2002)『宇和島市誌 (下巻)』宇和島市
- ・愛媛県高等学校教育研究会社会部会地理部門編(1980-1990)『愛媛の地域調査報告集』愛媛県高等学校教育研究会
- ・宇和島市 (旧津島町) 編(1975)『愛媛県産業地説 津島町誌』宇和島市 (旧津島町)
- ・<http://www.uwajima.org/special/vol4/>
- ・<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%B5%A4%E6%BD%AE>
- ・[http://ilove.manabi-ehime.jp/system/regional/index.asp?P\\_MOD=2&P\\_ECD=2&P\\_SNO=42&P\\_FLG1=5&P\\_FLG2=2&P\\_FLG3=3&P\\_FLG4](http://ilove.manabi-ehime.jp/system/regional/index.asp?P_MOD=2&P_ECD=2&P_SNO=42&P_FLG1=5&P_FLG2=2&P_FLG3=3&P_FLG4)
- ・[http://www.maff.go.jp/j/heya/kodomo\\_sodan/0207/09.html](http://www.maff.go.jp/j/heya/kodomo_sodan/0207/09.html)